

コード	402080103
記入日	H23.6.10

課コード	115
課名	農林課
課長名	幹 保孝
担当者	犬塚 忠生

事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	教育の森整備事業
----------	----------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	2
基本事業コード	40208	基本事業名称	森林の公益的機能の維持増進	目コード	2
事務事業コード	4020801	事務事業名称	みどり思想の啓蒙普及事業費	細目コード	
関連計画		法令・条例規則等	森林づくり交付金要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 住民		(対象指標1)	23,210人 (H22.4.1現在)			
(対象2) 観光客		(対象指標2)	197,591人			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・解体工事 1.0式 ・林業(つばき)体験施設 1棟 →木造瓦葺平屋建 220.86㎡ ・搾油体験施設 1.0式 ・炭焼き体験施設 1.0式 ・森林学習遊歩道 L=121m、W=1.2m	(平成22年度) ・解体工事 1.0式 ・林業(つばき)体験施設 1棟 →木造瓦葺平屋建 220.86㎡ ・搾油体験施設 1.0式 ・炭焼き体験施設 1.0式 ・森林学習遊歩道 L=121m、W=1.2m ・備品購入の一部は、平成23年度へ繰越	① 体験施設整備	1.0式	99.2%	実績施設設備+計画施設設備	平成23年度
		② 体験施設整備	1.0式	100%		平成22年度
		(達成率分析)	施設整備(林業体験施設、搾油体験機械等、遊歩道)は計画どおり実施したが、備品購入の一部を平成23年度へ繰越した。			
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
・「つばき香り豊かな海と歴史文化を育むしま」と将来像にうたわれているように本町には多数のつばきが自生し、材から実に至るまで利用されてきた。今ではその利用方法はわずかな地区の高齢者が実施しているに過ぎない。この伝統ある生活の知恵を、体験椿林から加工まで一貫して学べる施設を整備し、地元青少年はもとより住民から観光客まで多くの人に学び体験してもらい本町の文化の一端を感じていただきたい。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① 進捗率	63,102千円	99.2%	直接事業費+計画事業費	平成23年度
		進捗率	63,102千円	100%		平成22年度
		(達成率分析)	施設整備(林業体験施設、搾油体験機械等、遊歩道)は計画どおり実施したが、備品購入の一部を平成23年度へ繰越した。			
		② 利用者数	2,440名	*****	年間利用者数+年間利用計画者数	平成23年度
		利用者数	*****	*****		平成22年度
		(達成率分析)	全体事業未完了のため、当該年度利用者数は事後評価にて算出する。			

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 式	1.0	1.0		1.0	1.0				
	②									
成果指標	① 千円	63,612	63,103		63,102	63,102	510			
	② 人	2,440					2,440			
総事業費 C (A+B)	千円	77,612	70,102		70,102	70,102	7,510			
直接事業費 A	千円	63,612	63,102		63,102	63,102	510			
人件費 B	千円	14,000	7,000		7,000	7,000	7,000			
内訳	従事職員数	人	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円	22,256	22,256	22,256	22,256				
	起債	千円	35,100	35,100	35,100	35,100				
	その他	千円								
一般財源	千円	20,256	12,746		12,746	12,746	7,510			

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	地元特産物を使った文化の振興である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	時代情勢や環境の変化に乗じた施設である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	文化の継承と青少年教育、生涯学習である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	自生つばきは、天然性植物でもあり環境や自然保護ともリンクしている。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	未利用資源がたくさんありこれから右肩上がりとなる。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	伝統文化の継承が途絶え、新上五島の歴史の一端が消える可能性がある。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由	事業規模が大きく民間では出来ない事業であるため、モデル的に町が発信し徐々に民間移行する計画である。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	必要最小限の規模であり、利用者の効率性からも適切である。
	・人件費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由	運営自体は指定管理者制度をとっており、企業努力も併せ持っている。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	主に指定管理者側からの計画にのっとり算出された利用料であり、適正である。

改善

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		有効性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		効率性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		課題に向けた改善策	特になし。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	1次評価のとおり
		効率性	1次評価のとおり

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。